

ひまわり通信 28ね9が10が さらなるステージへ!

↑**主の平安** 運動会も無事に終わり、一回り大きく成長した子どもたちの姿を見ることができたと思います。今、子どもたちはさらに次のステージに向かって歩み始めています。そのことは、子どもたちの心の成長を感じさせるものと言えます。言い換えれば、子どもたちは出来事一つ一つにいつまでも留まることなく、未来に向かって常に歩み続けていることを意味しています。そう考えると12月のクリスマス会がとても楽しみです。保護者の皆様もお子さま方を家でもしっかりと見て下さり、いつも笑顔で子どもたちの成長に寄り添って頂きたいと思っております。
＜園長 頭島＞

～五感を感じて～

先日、C・Dの横割り保育で太鼓とカスタネットの合奏「おおきなたいこ」をしました。お部屋の真ん中に太鼓を11個準備して、白い布を被せていました。子どもたちは、お部屋に入ると白い布が気になりじっと見えています。全員が揃った所で白い布を取りました。「うわーすごい！」11個の太鼓に驚き、目はキラキラしています。太鼓の紹介をして「どんな音が叩いてみるね」と言って、ドンドンと叩きました。叩く度に、お部屋の窓がブルブルと震動します。「先生、体もブルブルする！」太鼓の膜に鼻をくっつけ「くさーい！・・・」太鼓の叩き方を見せて、クラスごとに交代しながらカスタネットと太鼓の合奏を楽しみました。「もっとやりたい！」と子どもたちの声。活動が終わり、最後に通リゃんせで遊びました。2組になり54名の小さな細いトンネルを歌に合わせながらくぐって行きます。♪通リゃんせ、通リゃんせ。ここはどこか細道じゃ、天神様の細道じゃ、ちっと通して下しゃんせ・・・♪トンネルにひとりりて入るのは不安な表情でしたが、後はにっこり・・・見て、聞いて、触れて、匂って五感をフルに使い、とても楽しい時間を子どもたちと過ごす事が出来ました。
主任 福留

～クラスだより～

～**ぴーちゃんありがとう!**～ 夏休みの最終日、子どもたちが大好きだった黄色のインコ(ぴーちゃん)が、天国へ行きました。9月1日の朝、鳥籠を見た子どもたちはとても驚いていました。がマリア様の近くで眠っている“ぴーちゃん”を優しく撫でてくれました。全員が登園してから幼稚園の庭にお墓をつくりお祈りしました。命の終りを実感し、寂しい気持ちでいっぱいの子供たちでした。もう一羽の青いインコ(らすちゃん)の気持ちを皆で一緒に話しました。次の日から朝、登園するなり「らすちゃん、おはよう」「らすちゃん、げんき?」「きょうもあついでね!」「らすちゃん、お外いってくるね!」「らすちゃん」がいる鳥籠の前に行き、今まで以上に沢山話しかけてくれる子どもたち。“ぴーちゃん”とのお別れは悲しいものでしたが、残された“らすちゃん”に、沢山の気持ちを分けてくれる子どもたちの温かい心に嬉しくなりました。
あぐねす組 二宮



～火災避難訓練～

9月16日(金)に、火災避難訓練を行いました。子どもたちは、煙を吸わないよう手でマスクをして静かに園庭へ避難する事が出来ました。消防士さんに「お・か・し・も」のお話をもらった後は、消防自動車を見せて頂き「カッコいい!!」と興味深々でした。また、サイレンの音に驚いて泣き出してしまった女の子に「〇〇ちゃん、こわかった?もうだいじょうぶだよ!」と優しく背中をさすってくれたお友だちがいました。災害時には、自分の身を守る知識や行動だけでなく、互いに心を配り、助け合うことも大切です。〇〇ちゃんが安心出来るように声を掛けてくれたお友だちの姿がとても嬉しかったです。
ぱうろ組 田中



お・・・おさない
か・・・かけない(走らない)
し・・・しゃべらない
も・・・もどらない



10月14日(金)に、防犯教室をしていただきました。自分の命を守る大切な話を真剣に聞いていた子どもたち。うさぎのミミちゃんに「イカのおすし」の約束を教えてくださいました。

- ☆知らない人についていけない
- ☆知らない人の車にのらない
- ☆おお声を出す
- ☆すぐにげる
- ☆まわりの大人に知らせる

～**十五夜**～ Aさんたちがお月見だんごを作りました。耳たぶの柔らかさまで捏ねて美味しいお団子が出来る事を伝えると、料理活動が始まるまでずっと自分の耳たぶを触り確認していました。こねて丸めた団子を沸騰した鍋に入れる際は、緊張した表情の子どもたちでしたが、出来上がったお団子に「やっぱり自分たちで作ったから美味しい」と大満足な子どもたちでした。秋のお恵みに感謝です。
よぜふ組 森水



～**助け合い**～ 「バシャーン!」あるCさんが洗濯のお仕事をしていて水をこぼしてしまいました。すると・・・「あー!川になっている!」と言いながら、青い雑巾(床用の雑巾)とバケツを持ってくる子どもたち。「これじゃお魚が泳いじゃうよ～!」と立ちすくんでいるCさんに優しく微笑みながら、みんなで拭いてくれました。何気ない生活の中で子どもたちの温かい優しさに触れることができとても嬉しいでした。
ぺとろ組 有田



～子どものつぶやき～

バツたをつかまえたBの☆☆ちゃん。
虫カゴにバツたとキャベツを入れて来ました。
T「バツたってキャベツ食べるの?」
☆「うん、ママがぐるぐるで調べてくれたの」
T「ぐるぐる?」
☆「うん、スマホのぐるぐる。」
.....グーグルで調べてもらったようです。
まりあ組 今村

～自然～

2学期に入り、子どもたちがバツたやこおろぎ、どんぐり、まつぼっくりなどたくさん自然をお部屋に届けてくれました。子ども達は目を輝かせながら、ひとつひとつ見ていろいろな事を感じている様です。届けてくれてありがとうございます。
くら組 浅井



♪どんぐり、どんぐり、ころころ♪

～Aさんの横割り保育「私の家」を参観して～

私には、小学3年生と年長と2歳の3人の娘がいます。その小3の娘の横割り保育の保護者参観の話を書きたいと思えます。ひまわり幼稚園は、縦割り保育なのですが、木・金は横割り保育があります。その時、Aさんは、クラスに残り担任の先生と少ない人数でお料理を作ったり、工作をしたりします。参観の日には、「私の家」ということで家を作る日でした。普通、幼稚園では先生が「これを作ります!」と見本を見せて作り方を説明していきながら、みんなが同じものと同じスピードで作っていくという感じだと思うのですが、ひまわり幼稚園では工作を作る時、見本を見せて「こんな家を作りたいと思えますが、この壁は、どうやって作ると思えますか?」から始まるんです!子どもたちが手を挙げて、ひとりの子が1枚の紙を折りました。なかなか上手く正方形に折れないんです。五角形になったり台形になったりして...それを先生はその子が出来るまでずっと見て待っていました。時間にして五分以上も!私だったら一分もしないうちに「こうすればいいでしょう!」と取り上げて折ってしまうと思うのですが、先生はじっと待っていたんです。どうにもいかなかった時に先生が声をかけて「難しかった?」「どうすればいいのかなあ?」「他に解る人はいるかな?」ってまた聞くんです。他の子が手を挙げて、こうやって真ん中を折ってまた内側を折って正方形を作りました。そしたら、すごーい!すごーいってみんな褒めるんです。出来なかった子もすごーいって言っているんです。私は時間があつたとはいえ、いとも簡単にお友だちが作ったのを見て、出来なかった子は悲しい思いをするのでは?と一瞬思いましたが、嬉しそうにすごーいって言っているんです。私は、その子が最後までやらせてもらったからこそ、お友だちが出来た時素直に喜べたのかなって感動してしまい、ひまわり幼稚園に入れてよかったと心から思いました。そして、その家も一人一人全て違います。2階建てだったり、3階建てだったり、柵があつたり、木があつたりと自由な発想で納得のいく、出来た!まで先生は見守り、初めて家に持って帰って来ます。
私は、参観で子どもたちがいろんなことを学んでいるのを知りました。子どもたちの声をよく聞いてくれる素晴らしい先生ばかりです。是非皆さんも、ひまわり幼稚園の魅力を感じて欲しいと思えます。
ぺとろ組 保護者 山下様



～オリンピック開会式～



9月に横割り活動や園外保育(科学館)の活動を通して、自分たちは太陽系の中の地球という星に住んでいることを知ったA組さん。また10月のお集まりでは、国旗について触れました。「7つの大陸」を伝えた後に「大きさは違っても色々な形に分かれていて、これを国と言います。国にはその国の旗があります」と話し、アジア大陸地図パズルを見せながらいくつかの国旗を紹介しました。その後個人活動に於いて、国旗に関するお仕事に興味を持って活動する子どもが増えてきました。そのような時「今日はオリンピックの開会式を行います」と、今夏のオリンピックを話題にしながら「出たい人は紹介できる国旗を1つ選んで、国の名前と何の選手かをお客さんにお話して下さい」と子どもたちに伝えました。そして、7人の参加者が国旗を持って入場行進です。「僕は、日本のサッカー選手です」「僕は、韓国の水泳選手です」「私は、中国のバレーボール選手です」などと、各々が国旗を披露しながら、緊張した面持ちで発表しました。「カッコよかった!」「楽しかった!」とお客さんから拍手が起り、参加者の嬉しい表情が見られました。
Aの部屋 藤田

Aぐみ・Aさん→年長児
Bぐみ・Bさん→年中児
Cぐみ・Cさん→年少児
Dぐみ・Dさん→満3歳児



学校法人カトリック学園 ひまわり幼稚園

〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目31-13 TEL:099-268-2340 FAX:268-2333